

<報道発表資料>

県内最速！沖縄セルラーグループ 2024年度カーボンニュートラル達成 ～ 地産地消にこだわった、地元へ全力！カーボンニュートラル～

沖縄セルラーは、連結子会社を含めた当社グループ全体の事業活動から排出されたCO₂（注1）を実質ゼロにする（注2）カーボンニュートラルを県内上場企業最速で達成したことをお知らせいたします。

地産
地消

0
t-CO₂



当社は、これまでもCO₂を減らす省エネルギー化への取り組みや、太陽光発電を活用したサステナブル基地局の展開、沖縄県内の再生可能エネルギー（以下、再エネ）で発電された電気の利用を行ってきました。現時点において、再エネで発電された電力の利用が困難な離島エリアにおいては、沖縄県内の再エネで創出された「FIT 非化石証書（注3）」を活用しCO₂削減に取り組んでいます。その上で、どうしても排出されるCO₂（全体の0.3%）については、CO₂を吸収する森林整備プロジェクトに投資することによって創出された「自然由来のJ-クレジット」の活用を図り、カーボンニュートラルを達成しています。

■参考

Scope1（0.3%）：自然由来の森林保全で創出された「J-クレジット」

Scope2（99.7%）：県内再エネ由来の電力利用、県内産「FIT 非化石証書」の活用

※（）内は、当社グループ全体の排出量の比率を示しております。

今後は、更なる再生可能エネルギーの導入や、沖縄県内で創出される「J-クレジット」の組成に加え、カーボンニュートラルを達成したことにより生み出された、環境にやさしい当社通信ネットワーク「Green Network by 沖縄セルラー」の訴求を通じ、県内のカーボンニュートラルの機運を高めていきたいと考えています。

当社は「地元へ全力！」のスローガンのもと、地域に根差した、地域ならではのカーボンニュートラルを継続し、この島の未来を豊かにしてまいります。

注1）Scope 1（自社における直接排出量）とScope 2（自社が使用した電力などの間接排出量）の合計。

注2）CO₂排出量削減に向け、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入に組み込み、どうしても排出されるCO₂については、削減活動に投資するカーボン・オフセットを実施し相殺しています。

注3）再生可能エネルギーから作られた電気を国が電力会社に買い取りを義務付けた制度により生じた「環境価値」

【報道機関からのお問い合わせ先】

沖縄セルラー電話株式会社 広報担当 TEL：098-951-0639